

6校統合案は撤回せよ

答 改めて幾つかの案を検討する



弥吉 治一郎 議員

問 6小学校を統合する
小学校の再編案には反対だ。
特に二川校区内には、
市が第1種低層住居専用
地域に指定している所が
ある。この地域は行政が
手を打たなくても自然増

で5年後の二川小学校の
児童数は13人増加するで
はないか。市が住居専用
地域に指定した地域は、
開発公社等を使って宅地
開発すれば、児童数はさ
らに増える。国道442
号も通ったわけで、道路
を1本入れただけで民間
が開発する。今後、児童
数の増加が見込める二川
小学校は廃校せず残すべ
きだ。
小学校を廃校すること
は、地域を衰退させる。
寂れていくということだ。
未来、複式学級となるの
を避けるための学校再編
なら反対はしないが。
学校規模の上限が54
0人という平成20年3月
の答申が生きているとす
れば、児童数が850人
となる現行案は撤回すべ
きだ。



二川校区では宅地開発が進んでいる(イメージ)

市長 今後、改めて幾つ
かの再編案と現行案を、
小学校再編庁内検討委員
会で比較検討し、できる
だけ早く検討結果を議会
へ説明できるように取り組
む。

市立病院の統合は



松竹 卓生 議員

問 8月25日の西日本新
聞に「筑後市、病院統合
は無理」との記事がある
が、内容は。
市長 筑後市立病院は、
地方独立行政法人移行後
7年連続で黒字経営だが、
平成11年建替え時の債務
が約30億円残っている。
統合後の新病院の建設場
所が不明確という中、今
すぐに公立八女総合病院
との統合というのでは市
民の理解は得られないと
判断し、八女市長に伝え
た。

自立支援協議会運営 事務局と密に連携

問 障がい者の地域生活
と自立を支援していくた
めに、自立支援協議会が
できた。福祉関係者が集
まり、改善すべき課題を
拾い出し、自立を推進、
前進させるために課題解
決の方向に行動すること
が求められている。現状
は期待通りか。

市長 まだまだ取り組み
が不足しているところも
ある。相談支援から見え
てくるニーズや課題を協
議会で共有しながら、市
全体の課題として、協議、
検討する中心的な場とし
て引き続き取り組み。
福祉課長 社会福祉協議
会に事務局を任せている
が、設置主体は市なので、
運営に関しては事務局側
と福祉課が密に連携して
務めていきたい。

答 現段階では統合は
無理と八女市長に
伝えた



社会福祉協議会がある総合福祉センター